

1 取組名称

ポートフォリオを用いた学習課題の自己設定

～ルーブリック評価をポートフォリオ化し、学生が自らの学習の問題点を抽出できるように支援する

2 取組対象科目

生物学実験 1 (I0209)、生物学実験 2 (I0212)、生物学実験 3 (I0480)、生物学実験 4 (I0481)

3 取組実施代表者名

理学研究科生命科学専攻・教授・鈴木準一郎

4 取組年度期間

2019～2020 年度（2 年間）

5 取組の概要

生物学実験（実習）にて、組織的なルーブリックの導入を進める。

レポートとルーブリックのファイリングを学生に明示的に指導し、個々のレポートや評価をポートフォリオに集積し、レポートとルーブリックを元に学生に学習上の問題点を抽出させるシート（課題設定シート）を作成させることで、ポートフォリオの一部とする。このことにより、問題点の把握とその解決に向けた課題設定を促す。

また、ポートフォリオ作成を支援するアプリについても、仕様を設計し、制作を進める。

6 事後評価の総合評定

2. 8 ※審査会（教育担当副学長及び部局長構成）の審査員が行った 5 段階評価（5～1）の平均点

7 事後評価に関する審査会での主な意見

- ルーブリック・課題設定シートの組織的な導入により、学習成果や課題が可視化され、図表化、蓄積、俯瞰等の技術が向上したことは評価できる。
- 本事業は、ルーブリックを導入するだけでなく、学生が書いたレポートとそれに対する評価をポートフォリオに集積するという、より発展的で統合的な教育法を考案し、実践に移した点で、教育改革の推進に重要な貢献を果たしたと評価することができる。
- コロナ禍でレポートの出題・採点形式が大幅に変更され、当初想定していたプラットフォームの利用が推奨できなくなるなど、外生的要因とはいえ、取組の前提に大きな変化が生じており、所期の事業目的を一部達成できていない。